

# 議員定数削減！ あなたはどう思いますか

## 議会は何のためにあるのか

### ともに考えましょう



7月15日に江南商工会議所から「江南市議会議員定数に対する緊急要望書」が議長あてに提出され、現在の24人を21人にしよう求めています。

議員の中にも九月議会に定数削減を提案する動きもあります。

#### 市議会は何をしているの。

市議会は、市民の選挙で選出された議員によって構成され、主な役割として、①条例の制定や予算の決定などを行う意思決定機関であり。②市民の立場から市政を監視し、チェックする機能が求められています。

本会議での、一般質問や議案質疑、委員会での審査等を通じて市長の姿勢や市政の問題点をただしていきます。

こうした行政のチェックとともに、市民の代表として多様な市民要望にこたえるために、それぞれの議員が調査・研究した政策を市長に提案したり、議員提案で条例を提案することもできます。

地方分権改革のもとで、より開かれた市民にわかりやすい議会と、一層活発な政策提案と論戦が求められています。

日本共産党議員団は、4年前に議会改革に対する提案を行い、市議会は議会改革検討委員会を設置し（委員長東よしき議員）4年間でさまざまな改革を行ってきました。また各議員の本会議での一般質問も活発に行われるようになっていきます。

ケートにも「議員は多すぎる」「減らした方が良い」との意見も寄せられました。改めて議会とは何か、議員に求められているものは何かを考えてみましょう。みなさんのご意見もお聞かせください。

**【議会改革への取り組み】**

- \*開かれた議会へ…**
  - 本会議の様態を市役所1階ロビーでテレビ中継
  - 本会議をインターネット中継  
(録画・一般質問のみ)
  - 議事録のインターネットによる検索
  - 市広報への議会だよりの掲載
- \*本会議・委員会等の改革**
  - 一般質問の日程を2日から3日間に
  - 委員会としての研修会等の開催
- \*その他**
  - 会派毎の政務調査費、委員会視察の公開
  - 公費による健康診断、議員手帳の配布の廃止
  - 会議中のお茶出しの廃止、等々
  - 提案しつつまだ改善されていないもの
    - 傍聴者への議案書の閲覧。
    - 手話通訳等障害者への対応。等
  - 議会基本条例の制定を提案

#### 近隣市町の議員定数と報酬

市	上限定数	現定数	人口	議員1人当りの人口	議員報酬(月額)
江南市	30	24	99,983人	4,166人	484,000円
犬山市	30	22(20)	73,863人	3,348人	474,000円
岩倉市	26	18	45,928人	2,552人	431,000円
北名古屋	30	24	79,137人	3,297人	410,000円
稲沢市	34	34(30)	138,547人	4,075人	483,000円
一宮市	46	44(40)	378,022人	8,591人	524,000円
小牧市	34	28	144,078人	5,146人	504,000円

\*人口はH2005年国勢調査。 \* ( ) 内の数字は次回選挙から適用。  
\*江南市が21人になると、議員1人当たりの人口は、4852人となります。

**一般質問をした議員数**  
H15年6月～19年3月(4年間)  
**定数28 1議会平均13.5人**  
H19年6月～22年6月  
**定数24 1議会平均17人**  
\*6月議会は19人の議員が一般質問を行いました。日本共産党議員団も毎回一般質問・議案質疑を行っています。

## 議員定数の削減は多様な民意の切り捨てに！活発な議会こそが必要

上の表で見ていただくとわかりますが、江南市の議員定数は上限30人に対し24人とすでに6人も減っています。今年度の国勢調査の結果を待たなければなりません。住民基本台帳上でいえば人口は10万人を超えており、上限は34人になるところです。議員1人当たりの人口は2005年当時3591人でしたが、現在は4245人となり、3人減員すると4852人と市民にとって議会はますます遠い存在となり、市民の声が尚一層届きにくくなってしまう。

議会に求められるのは、江南のまちをどうするか、景気や雇用対策は、子育てや高齢者福祉は？といった、本来の議会の役割である多様な市民の声を生かした政策提案や、チェック機能を発揮した緊張感あふれる議会ではないでしょうか。

、そのためにも、議会基本条例の制定を行い、さらに市民に開かれた議会、委員会活動の活性化や議会のチェック機能の強化に取り組むことです。

財政の問題から、「議会も身を削れ」と議会や政治を論ずることは本来の議会活動の在り方をゆがめてしまいます。

二元代表制の一方である議会活動の経費は、必要な議員定数を含め確保しなければなりません。その上で、その使い道や活動については、市民の皆さんからの厳しいチェックやご意見はどんどんお寄せいただき、活発な議論、市長提案には「何でも賛成ではない」議会を作っていくことこそ求められていると思います。